

アイジールーフの取得認定

飛び火性能認定 DR-1882(屋根勾配：2.5～27.5 寸適応)

	材料	寸法
屋根材	スーパーガルテクトフッ素・スーパーガルテクト・スーパーガルテクトC	—
目地部役物	ジョイント下地 (有または無)	—
防水材	アスファルトルーフィング940・改質アスファルトルーフィング など	—
野地板	耐水合板・構造用パネル (OSB) ・素地パーティクルボード	厚さ12mm以上
たる木	木製下地	45mm×60mm以上 (間隔500mm以下)

アイジールーフ認定取得範囲

■木造下地

用途	地域	延床面積 (S)m ²	階数					
			S≤100	100<S≤500	500<S≤1000	1000<S≤1500	1500<S≤3000	3000<S
共同住宅	防火	1,2階建	準耐火構造	耐火構造				
		3階建	耐火構造			耐火構造		
	準防火	1,2階建	飛び火性能 (法63条)	準耐火構造			耐火構造	
		3階建	準耐火構造					耐火構造
	22条区域	1,2階建	飛び火性能 (法22・25条、令136条2の2)	準耐火構造 (2階床面積が300m ² 以上の場合)			耐火構造	
		戸建住宅	防火	1,2階建	準耐火構造	耐火構造		
準防火	3階建			準防火3階建仕様	準耐火構造			耐火構造
	1,2階建		飛び火性能 (法63条)	準耐火構造			耐火構造	
22条区域	3階建		飛び火性能 (法22・25条、令136条2の2)			準耐火構造 (大規模建築物木造3階建の場合*)		耐火構造
	1,2階建		飛び火性能 (法22・25条、令136条2の2)					

アイジールーフが使用可能な範囲です。

※1：大規模建築物の木造3階建は高さに制限なし、その他の木造は高さ13m、軒高9mを超えると特殊な場合を除き木造不可となります。

(注) 飛び火性能認定は構造認定ですので、認定を取得している仕様にて施工してください。

アイジールーフで取得している飛び火性能認定は、木造下地での仕様です。不燃下地では使用できません。

以上は、屋根のみに関する建築基準法の大まかな制限を表しています。

自治体の条例などで建築基準法より厳しい制限が設けられている場合がありますので、計画の際は前もって管轄の行政庁にご確認ください。